

# 災害対策活動（緊急時に備えて）

当協会は災害時の緊急活動に備え、災害対策委員会を設置し、大田造園協会・京浜都市建設協同組合と相互協力のもと、大田区役所の災害時民間協力協定団体として活動しています。主な活動内容として、台風などによる水害防止活動、大雪や路面凍結時の除雪活動、大地震時における道路啓開作業等を行なっています。1995年に起きた阪神淡路大震災を教訓に我々の「思わぬ災害」に対する意識が深まっており、ますます当協会の責務の重要性を感じます。



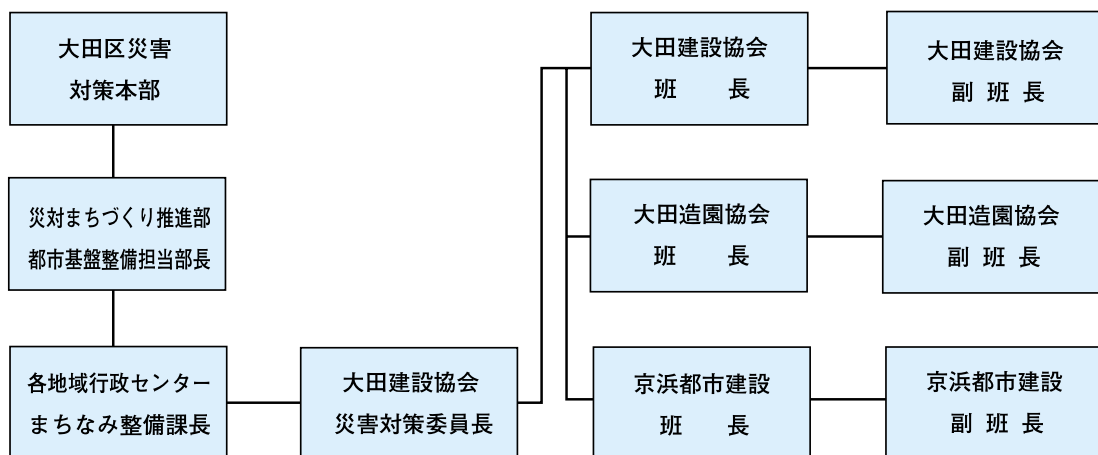
増水時の多摩川

## 河川冠水による水害防止活動

大田区は海に面し、多摩川等に囲まれており、昔から水害に悩まされてきた地域です。海や川に注ぐ支流が多くその為、台風などの大雨による増水で決壊が危惧される場所が多くあります。

我々は、常に地域防衛団という意識をもって災害に備えております。

## 緊急連絡体制



## 防災の日に訓練に参加

当協会災害対策委員会は、毎年9月1日防災の日に行なわれる大田区総合防災訓練に参加し、いざという時に全力で対応できるように準備を整えています。訓練では地域の町内会や自治会の方々と共に参加し、倒木に見立てた丸太をチェーンソーで切断して通路を確保、障害物の除去を行ったりします。



チェーンソー演習風景



自治会の皆さんと避難訓練

## 阪神淡路大震災による緊急出動

阪神淡路大震災では、東京都の要請により当協会の数社が現地に出向き、災害復旧作業、障害物除去作業、水道管布設作業等を行ないました。



倒壊した家屋



水道管布設



障害物により塞がった道路



震災により破損した水道管